【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公表番号】特表2005-526997(P2005-526997A)
【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)
【年通号数】公開・登録公報2005-035
【出願番号】特願2004-507916(P2004-507916)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/28　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　37/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/28
Ｂ３２Ｂ　31/18

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月25日(2006.4.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１枚の多層光学フィルムを含む多層光学フィルム本体のロールを巻き出すことにより前記多層光学フィルム本体を提供する工程と、
第１および第２のライナを前記多層光学フィルム本体の両側の主面に被着する工程と、
前記第１のライナおよび前記多層光学フィルム本体の複数のピースを画定する切断線を作成するよう適合されたレーザー線を、前記第１のライナを通して前記多層光学フィルム本体に方向付ける工程と、
前記多層光学フィルム本体の複数のピースが前記第２のライナにより支持された状態で、前記第１のライナの複数のピースを前記多層光学フィルム本体の複数のピースから除去する工程と、
方向付けおよび除去工程後に前記多層光学フィルム本体および前記第２のライナをロールに巻き取る工程と
を含む多層光学フィルム本体を小分割する方法。
【請求項２】
少なくともいくつかの前記切断線が前記多層光学フィルム本体を完全に貫通して延在するが、前記第２のライナを完全には貫通しない、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
少なくとも１枚の多層光学フィルムを含む多層光学フィルム本体を提供する工程と、
第１のライナを前記多層光学フィルム本体に被着する工程と、
前記第１のライナを通して、そして前記多層光学フィルム本体を少なくとも部分的に通して複数の区分されたピースを画定する切断線を形成する工程と、
前記第１のライナの複数のピースを前記多層光学フィルム本体の複数のピースから除去する工程と、
少なくとも前記形成および除去工程中、前記多層光学フィルム本体を第２のライナで支持する工程と、
前記形成および除去工程の後に前記多層光学フィルム本体と前記第２のライナをロールに巻き取る工程と

を含む多層光学フィルム本体を複数の分離したピースへと切断する方法。
【請求項４】
前記切断線がレーザー線により形成される、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
前記多層光学フィルム本体がポリマーマイクロ層を含む、請求項１または４に記載の方法。
【請求項６】
前記レーザー線を制御して、前記切断線の少なくともいくつかが前記第２のライナを貫通して延在しないようにする、請求項１または４に記載の方法。
【請求項７】
請求項１または４に記載の方法により作成される多層反射性光学フィルム本体のピースであって、該ピースの縁が実質的に層剥離されていないピース。
【請求項８】
請求項１または４に記載の方法により作成される多層反射性光学フィルム本体のピースであって、該ピースの縁が変形されて該縁にそってシールを提供しているピース。